

年が明けました

新年おめでとうございます

これを書いていいるのは一月の九日です。

早いもので、年が明けてからもう十日近くが経とうとしています。なんだかあつという間ですねー。そろそろ皆さま方には、いつも通りの日常へと戻られた頃でしょうか。

今年のお正月は、割と暖かい日が続きました。元日は好天に恵まれ、多くのご参拝をいただきました。二日はあいにくの雨となりましたが、また晴れの日が戻り、よい三が日でした。

全国的に見ると、今年の年明けは暖かく、雪が少なめようです。スキー場などは雪不足という情報もあります。局地的に大雪や強い北風に見舞われたところもあるようですが、やはり暖冬傾向が続いているようですね。

少し寒暖差が大きい今日この頃ですが、皆さま方におかれましては、体調管理に十分注意されて、この冬を無事乗り切っていたたきたいと思えます。



王嶋神社百手講神事

さて、去る一月八日。今年もまた庄野地区の産土神様である王嶋神社の百手講神事が執り行われました。

午前中、前日から降り続いていた雨が残っていて、果たしてどうなるかと心配されましたが、午後からは雨もやみ、無事に的打ち神事を齎行することができました。

今回はその模様をお伝えします。

今年射手を務めてくださったのは、庄野地区にお住まいのお二方。山元次生さんと本山孝太郎さんでした。

社殿内で、百手講の的打ち神事の無事を祈ってお祓いを受けられたのち、境内で弓矢を手にして準備完了です。

矢を射る場所からのまでの距離は、おおよそ一〇メートル。近いようですが、弓矢は弓道のそれとは違いますので、これがなかなか難しいのです。

矢は毎年五〇本が用意され、二人が交互に矢を放っていきます。一本ごとに、見守る人たちからは歓声が沸き起こったり、応援のか



け声がかかったりしていました。

今年も五本が命中。

なかなかの成績でした。宮司の話によりますと、「今年も作物のできはよい年になりそう」とのこと。去年は夏場の雨不足や長雨と、やや荒れ模様の一年でしたが、今年は無事に過ごすことができましたらよいですね。

的打ち神事が終了した後は、観客の皆さんによる的打ち体験が行われました。

松浦市長をはじめ、市役所の職員の方、取材にいられた記者さんもの打ちを体験されました。皆さん、なかなか苦労されました。

ちなみに、宮司も的打ちをしました。

今年一年、皆さまにとってよい年でありませうように。



淀姫神社インターネット公式サイト「淀姫神社WEB」 <http://yodohimejinja.com/>

各種最新情報・blog「淀姫日記」にて「お祭りレポート」などなど、内容盛りだくさんでお送りしています。ぜひともチェックしてくださいませ。